

## 下野市公民館運営審議会 議事録 (要旨)

審議会名等 令和2年度第2回公民館運営審議会  
 日 時 令和2年 7月21日(火) 午前9時30分～11時10分  
 場 所 南河内公民館 201会議室  
 委 員 出席者 塩沢 建樹、倉井 典子、菅沼 みや子、石田 節男、  
 舘野 紀子、津野田 久江、小林 溶子、谷萩 昌道、  
 小貫 シゲ子、上野 文夫、高木 香奈子、中澤 真智子  
 欠席者 大越 広美、石崎 勝二、兼丸 起子  
 教育委員会 教育長 池澤 勤  
 生涯学習文化課長 篠崎 正代  
 国分寺公民館長 齋藤 光利  
 石橋公民館 永田 恵美子  
 南河内公民館長 田村 利江  
 南河内東公民館長 大島 浩司  
 生涯学習推進グループ 課長補佐 浅香 浩幸  
 社会教育主事 漆原 聡

公開・非公開の別 ( 公 開 ・ 一部公開 ・ 非公開 )

傍 聴 人 0人

報道機関 0人

議事録(要旨) 作成年月日 令和2年 7月21日

- 1 開 会 石橋公民館長 永田 恵美子
- 2 委員長あいさつ 小林 溶子
- 3 教育長あいさつ 池澤 勤
- 4 議 事
  - (1) 令和元年度下野市公民館評価について
  - (2) 第2次公民館振興計画の策定について
  - (3) その他

### (1) 令和元年度下野市公民館評価について

小林委員長 事務局	<p>審議事項 議事(1)「令和元年度下野市公民館評価について」について審議する。事務局からの説明を求める。</p> <p>令和元年度下野市公民館評価について、前回配布した資料で一部修正があり差し替えさせていただいた。</p> <p>修正箇所は、まず公民館点検評価シートの令和2年度の前年度比欄にパーセンテージが入っていたが、これは3月に配布した資料では令和元年度予算額との比較で、令和元年度の決算額が確定したので、令和元年度の前年度比欄には、4館共に決算額と比較したパーセンテージとし、令和2年度は空欄とした。それと総評について、文言の変換ミス部分を修正した。</p>
--------------	---

小林委員長	<p>(令和元年度公民館評価に対するご意見ご質問と回答について説明) この内容でご了承を得られれば、教育委員会にご報告させていただきたいと思う。</p> <p>事務局からの説明について何かご意見ご質問はないか。</p> <p>令和元年度の評価として、教育委員会に提出されることになり、公表されることになる。</p> <p>質問がないようなので次の議題に進む。</p>
-------	---

(2) 第2次「公民館振興計画」の策定について

小林委員長	<p>次に議事(2)第2次「公民館振興計画」の策定について審議する。事務局からの説明を求める。</p>
事務局	<p>資料2になるが、教育長から教育委員会として、社会教育委員会議に対して公民館振興計画策定の諮問が出ている。公民館振興計画については、社会教育委員会議で策定するものだが、第1回の審議会時、公民館運営審議会で公民館の評価等を行っていることから、こちらで振興計画案を作成する形をとらせていただくと説明し了承を得た。第1回社会教育委員会議に事務局も出席し、委員長から公民館運営審議会で審議をして案を出してほしいと依頼があり、今回より正式に計画の案の作成を進めていきたいと考えている。</p> <p>(第2次「公民館振興計画」に対するご意見ご質問と回答と公民館振興計画調査票について説明)</p> <p>第2次「公民館振興計画」について、どのような形で修正するか検討しているところだが、資料の検討すべきところは赤字とした。</p> <p>4ページの総合計画、生涯学習推進計画は今年度策定中なので、文言が変わることもあるため赤字としている。それにより基本理念も変わる可能性があるため赤字とした。</p> <p>8ページの図の矢印では、審議会から公民館に対するものに、提案・答申に評価を追加した。また公民館から審議会に対してのものには、報告・諮問の報告にカッコ書きで実績・課題を追加した。</p> <p>10ページでは、前年度公民館評価マニュアル作成の際、内部評価と外部評価という表現をしており、マニュアルの修正を検討したが、振興計画において内部評価・外部評価と表現があったので、前年度から評価に対して実績・課題という言葉に修正した方が良くと考え赤字にした。</p> <p>次に19ページの公民館使用料の減免規定ですが、これまで明確な減免規定がなかったが、昨年度規程を作成したので追加した。</p> <p>また、第1次公民館振興計画では全てを社会教育委員会議の中で策定したことで、社会教育委員の名簿のみでしたが、第2次については公民館運営審議会で作成することから、公民館運営審議会委員名簿も追加した。</p>
小林委員長	<p>委員からのたくさんのご意見ご質問に対して、事務局より回答と説明をいただいた。あまりにもたくさんあるのでどのように進めたらよいか。会議はあと2回でしたか。</p>
事務局	<p>資料の中の令和2年度計画策定のスケジュールがあり、その3段目が公民館運営審議会のスケジュールになる。今回は第2回目として令和元年度の評価と公民館振興計画案作成となっており、10月に第3回目と</p>

<p>小林委員長 石田委員</p>	<p>して令和2年度の間接報告を行い、振興計画について再度審議をいただいて、たたき台を作った段階で社会教育委員会議に提案する形になる。そのあと社会教育委員会議の中で審議され、その結果を公民館運営審議会に戻していただき、12月に再度計画案をまとめたいたいと考える。そこで修正等あれば修正し、その後社会教育委員会議にて承認をいただくというスケジュールになる。そして1月にパブリックコメントを行って決定したいと考えている。</p> <p>ということで会議の回数はあまりないが、今日どこまで進めるか、効率よく進めるにはどうしたらよいかを考えていただきたい。</p>
<p>池澤教育長 石田委員</p>	<p>今後の進め方の手法の前に、公民館振興計画に対するご意見ご質問と回答で、入管難民法改正とまちづくりリクエスト講座について私が質問した件で、事務局から今日回答があったように、講座の企画にかかわることなので、今後の公民館講座の中で検討していただければよいと思う。振興計画に組み入れることから外していただいよ。</p> <p>リクエスト講座については、生涯学習推進会議に昨年出席し、多くのリクエスト講座があるがほとんど実績がないということでこのような感想を持った。今後の公民館講座の中でこの点についても検討いただき、以上2点は振興計画で検討されなくてもよいと思う。</p> <p>また、外国人の問題だが、近年自治会等でも多くの外国人を抱えているかと思う。教育長にお伺いするが市内小中学校で外国人の児童生徒は何人くらいいるか。</p>
<p>池澤教育長 石田委員</p>	<p>即答はできないが数人になる。モンゴル、フィリピン、中近東等から来ている。</p> <p>学校から子どもに通知を持たせても保護者が内容を理解できないという状況もある。</p> <p>また外国人に対しての日本語教室が公民館で実施されボランティアさんが対応しているが、その教室も満杯状態である。もう少し日本語教室や相談などを公民館でできる範囲のものを導入し、外国人にやさしい下野市であってほしいと思う。</p> <p>活動計画の中にも、学習拠点としての公民館の中で、生涯学習活動の場の提供の中に、すべての人に開かれた学習機会・場を提供しますという項目もあるので、今後の公民館には相談やこのような形の講座を導入していただけるとありがたいと思ひ提案させていただいた。</p>
<p>池澤教育長</p>	<p>今、外国から来ている人の日本語講座の話があったが、石橋公民館を中心に国際交流協会主催の日本語スピーチコンテストが行われている。日本語教室の指導者としてボランティアさんが20数名いる。昨年もボランティアさんがやっている日本語教室だけではとても大変なので、日本語講座を公民館の中に設けられないかと館長にお願いした。</p> <p>この問題については市を挙げて取り組むことも必要かと思う。ぜひ、振興計画に国際交流部門を位置づけていくべきなのかと考える。</p> <p>市内11小学校には日本語教室はないが、各学校では外国から来る子どもに対してしっかりと指導している。そういう子が転入して来たらどう対応するか、文科省から出ているマニュアルがあるので、先生方もしっかりと準備して対応している。</p> <p>外国の大学を卒業し、日本が好きで日本の文化を学びたくて、交流員として仕事をしながら日本語を学んでいる人もいる。なかなか日本語をマスターできないので、今ボランティアさんがやっている国際交流協会</p>

	<p>主催の日本語教室ではなく、公の社会教育施設の中に国際交流の拠点の窓口、すなわち日本語講座があってもいいのかと思う。ぜひ振興計画の中に位置づけてもらいたいと思う。その辺を各委員さんと今後協議していただけるとありがたい。</p>
小林委員長	<p>教育長から国際交流に関するものは公民館講座だけでなく振興計画に入れた方がよいのではと話がありましたが、石田委員はどうか。</p>
石田委員	<p>今後の対策として、石橋公民館で日本語教室のボランティアをしている方に聞いた話だが、ボランティアだけでは非常に大変で希望があってもお断りしている状況とのこと。親子で希望しているケースもあるので、ぜひ公民館講座の中に取り入れていただきたいと思う。</p>
小林委員長	<p>石田委員から、公民館講座の中で日本語講座を取り入れていただきたいという意見と、教育長からも国際交流に関して振興計画の中に取り入れた方がよいのではないかということで、審議会で結論を出していく形でよろしいか。</p>
池澤教育長	<p>第2次振興計画の4ページに、只今の部分が前提として基本目標を(1)(2)(3)(4)として考えると新しい第2次振興計画の骨子が決まってこない気がする。今お願いした国際交流の拠点としての公民館とするならば日本語講座は必要だし、協働のまちづくりという拠点としての公民館を残すならリクエスト講座は必要だと思う。生涯学習計画は市全体を含んでおり、市長が本部長、教育長は副本部長となっていて、市民一人一人が主役で、講師になったり受講者になったりと大きな部分で基本目標がもうひとつ5番目の柱として国際的な部分があってもよいのかと思う。</p> <p>国際的に活躍する人をつくっていくとなったとき、例えば委員長のあいさつの中にもあったが、文化基本構想があって歴史的風致維持向上計画ができて、今回文化財保存活用が文化庁に認められて三種の神器が揃ったのは全国2番目だと新聞報道にあった。東の飛鳥の拠点として文化財保存活用だけではなく、観光ボランティアや学習ボランティアのように国際交流の橋渡しをするつなぎ役のボランティアもいるでしょうし、そういう大まかな柱があってもいいのかなという捉え方をしていただきたい。</p> <p>第3次生涯学習推進計画もできあがってくるが、その流れの中での公民館であってほしい。学びの館だけでなく社会の中での皆さんの力を発信していく発信基地としての公民館もあっていいのかと思う。</p> <p>もう一つは国際交流があるが、後継者づくりとして若者をどう引き込んでいくか。文化財保存活用計画の中でまさに記念すべき東の飛鳥として、小中学生を市の文化財解説マイスター制度を作ったり、認定証などを作ったりして小さいころから意識づけしていけば、私の生まれ育った下野市はこんなにすごいところだと言って外国まで飛んで行った子どもたちが、外国で話せるような、素晴らしい人材を育ててほしい部分もある。そういう部分を公民館でするのもすごいと思う。振興計画策定にあたり、ぜひ基本目標の4つに縛られずに考えてほしい。</p>
小林委員長	<p>4ページの基本目標をもう一つ(5)として国際交流に関したことを付け加え、そこに石田委員から提案があったことを取り入れて計画を進めてみてはどうかとのことだがどうか。</p>
池澤教育長	<p>4ページの基本理念を私ならこういうキャッチコピーにするぞと皆さん考えていただきたい。ただこれを実現するためには基本目標がこれ</p>

	<p>だけ必要なだと「みんなでいきいきまちづくり、地域の輪を広げて世界へ広がろう」など、この前の生涯学習推進計画の「生涯学習による下野市の文化づくり、学びで創る豊かなしもつけ」は委員の皆様にも思いつくまま提案してもらった。基本理念も「わくわくドキドキ楽しさいっぱい公民館」も委員さんたちみんなの意見、そういうものからつくっていかないとわくわくドキドキ楽しい公民館活動にはならない。</p> <p>こんな基本理念で行こうと思いつくまま考えていただき素晴らしい振興計画に結びつけたらと思う。基本目標だけでは出てこないと思う。</p>
小林委員長	<p>4ページの総合計画と生涯学習推進計画を私たちは変えることはできないが、基本理念からは私たちの意見で変えることができる。前回のこの基本理念は審議会の中で出していたものの中から選んだ訳で、そのキャッチフレーズをもう一度考え直して基本目標をつくっていくということでしょうか。</p>
事務局	<p>今たくさんの課題が出てきたが、大本の基本理念、基本目標に沿って施策目標ができるわけであり、今日は皆さん頭に入れていただいたと思うので、次回基本理念はこういうキャッチフレーズがいいとか、基本目標は4つではなく5つがいいとか、4つのままで統廃合した方がいいとか考えていただき、今後審議会の中で一緒に考え結論を出していきたいと思う。</p>
事務局	<p>色々のご意見をいただき今回だけではなかなか結論は出せないかと思う。できたら次回の審議会までにどのような形で基本理念、基本目標、施策目標を分けるかの表など作成し、今月中に事務局から委員に提案し、検討後盆明けくらいに返信いただきたいと思う。それを基に事務局で案を作成し次回の審議会において審議願うことでしょうか。</p>
小林委員長	<p>それでよろしいか。</p>
高木委員	<p>会議をもう1回増やすことはできないか。</p>
小林委員長	<p>回数は決まっているのでそれは難しい。</p>
高木委員	<p>せっかく集まっても考える課題が多く時間が足りない。今回の課題を再度集まって話し合った方が良いのではないかと考える。</p>
事務局	<p>年何回という形で委員の報償費を予算化しているので、すぐに会議を増やすことは難しい。</p>
高木委員	<p>お金をいただかなければ良いのではないか。</p>
池澤教育長	<p>篠崎課長の方で財政とやりとりして振興計画を作っていく上でとても重要なことなので検討してください。</p>
篠崎課長	<p>もう1回委員の皆さんが会議にお集まりいただけるということのを了承していただけるなら検討させていただきたい。</p>
教育長	<p>事務局よりもう1回委員さんに投げます。それに対し返信いただき、もう1回会議を開会した方がいいという判断になれば、課長と相談して委員の皆さんに通知することでしょうか。</p>
小林委員長	<p>今の意見に対してみなさんどうか。今、年5回の会議を6回にするということではなく、返信された意見を基に事務局でまとめた結果、6回になることもあるということでしょうか。</p>
石田委員	<p>先程事務局より、公民館振興計画に対するご意見ご質問の回答の中で、今後審議会の中で結論を出していただければと考えていますとあるが、これについては何の審議もなさないのか。</p>
	<p>それと振興計画調査票にA継続する、B修正する、C終了するとあるが、ABCが記入されていないが質問した方はABCを記入していると</p>

小林委員長	<p>思うが、これについても今回結論を出さずに次回持越しで良いのか。</p> <p>他の委員さんにも聞きたいが、まだまだ審議することはあるので、時間をかけて今日審議するか、会議を6回にしてもらい課題を1回持ち帰り頭の中で整理して、意見等を事務局に出して、事務局で案を考えてもらうのとどちらが良いか。</p>
事務局	<p>石田委員の意見について、調査票の1番目になるが、教育長からの話のとおり基本目標をいくつにするのかに関して、調査票のご意見欄に〇〇とかぶるのではないかという文言もある。それを今後どのような形で対応していくか。また3番目については、講座の実施として1つにした方が表現としてわかりやすいのではないか等の意見もある。</p>
池澤教育長	<p>これに対して再度持ち帰り確認をしていただき、事務局から基本理念、基本目標、施策目標と分けて表を作ります。それを委員の皆さんに送付しご意見をいただく。それを事務局でまとめさせていただく方が良いのではないかと。今日審議いただいたとしてもなかなか結論が出てこないのかと思う。もしかしたら何案か作ることになるかもしれないが、その中で意見をいただきながら統廃合していくという形でどうか。そして、課長と相談し会議を6回にする形で進ませていただいた方がよろしいかと考える。</p> <p>そうすると9月上旬までには会議を開き案の作成をしなくてはならないので、8月中の開会で調整していきたいと思う。</p>
石田委員	<p>8月27日28日なら空いている。</p> <p>調査票のABCの記載は必ず記入してください。まさに今協議が始まったということで捉えていただきたい。委員の皆さんが書きやすいようにわかりやすいように作成し送ってください。あとは集まって意見をいただくということをお願いしたい。</p>
小林委員長	<p>私はやり方として、事務局は我々の手元に質問してくださいと10日も前に資料を送ってくれている、とても大変だと思う。次回が8月末になるとその10日前には事務局は作成しなければならない。今回も事前に検討してください、ご質問くださいと資料を送付してくれた。事務局がかなり大変になってしまうのではないかと。質問した方がどうでしょうかと問いかけてくれると、事務局も案を作成しやすく楽になるのではないかと。このままでは事務局に全部考えてくださいという感じになるのではないかと。</p>
池澤教育長 事務局	<p>確かに大変なことだと思う。ただ、石田委員の意見は正しいと思うが石田委員は前年度まで推進協議会に出席され、今年も社会教育委員として色々な面で理解できているかと思う。しかし委員の中には新しくなられた委員もいるので、これまで色々な意見等が出てくると、今日こうしましようか決めるには無理があるかと思う。審議会の中で決めなければいけないことだが、あまりにも課題が多く出てきたので、それを今事務局でもう1度案を作成してもらい、また高木委員からももう1回集まって検討すべきとの意見もあり、課長さんも対応してくれるとのことなので、次回の審議会にぜひ皆さんの意見をたくさん出していただき早めに決めたいと思う。事務局には大変なことで迷惑をおかけするがよろしくお願ひしたい。これに関してはよろしいか。</p> <p>日程は8月27日と28日のどちらがよいか。</p> <p>8月28日金曜日午前中で良いか。</p> <p>次回の会議は8月28日金曜日午前中、南河内公民館101会議室に</p>

小林委員長	<p>なります。開催通知と一緒に先程の質問等の表を送付します。  では次回までに事務局に資料を揃えていただき、それから再度審議するということで次の議題に移る。</p>
-------	---

(3) その他

<p>小林委員長  事務局  小林委員長</p>	<p>議事(3) その他について、事務局からの説明をお願いします。  (その他のご意見ご質問と回答について説明)  今の説明以外で何か質問はあるか。無いようなら以上で議事を終わりにする。</p>
----------------------------------	---

5 その他

6 閉 会